


メディカル英語 No.10【最終回】

医学英語の総仕上げ

—— 論文・ガイドライン・症例報告・患者文書を横断する

 **今日のゴール**： No.1～9 で学んだすべての医学英語文書（Abstract / Case Report / Cohort / SR / Guideline / IC / Patient Education）を横断し、「どの文書か」を即座に識別して適切な読解戦略を選ぶようになる。最終総仕上げとして、英語で医学的論述を完結させる力を確認する。

 全10回の統合地図

| No. | 文書の種類 | 読む目的 | 最重要表現/概念 |
|-----|---------------------|-------------------------------|---|
| 1 | 医学論文 Abstract | 研究の「答え」を先に把握 | Background/Methods/Results/Conclusions |
| 2 | 語彙・語根 | 未知語から意味を推測 | cardio / hepato / -itis / -ectomy |
| 3 | Case Report (基礎) | CC→Assessment のスキヤニング | CC/HPI/PE/Assessment/Plan・denied/consistent with |
| 4 | RCT・コホート論文 | HR/CI/p値を読む | randomly assigned / adjusted for / CI が1をまたぐ |
| 5 | SR・メタ解析 | フォレストプロット・ I^2 | ◆の位置 / $I^2 < 25\%$ / publication bias |
| 6 | ガイドライン | 推奨強度を読み分ける | is recommended / may be considered / Class I～III |
| 7 | IC 文書 | 同意の有効性を評価 | voluntary / withdraw / competency / without penalty |
| 8 | 患者教育資料 | Plain Language で理解 | Simple/Short/Active/You-centered / teach-back |
| 9 | Case Report (深化) | Discussion・Learning Point を書く | To the best of our knowledge / This case highlights |
| 10 | 横断・総仕上げ | 即識別・適切な読解戦略 | 全文書の特徴語句・読む優先順位 |

採点者の視点

採点者はここを見ている —— 医学英語総合・論文横断の問題で合格答案はこういう「構造」をしている

① なぜ同じ答えでも評価が違うのか

清光学院の講師陣は、これまでに皆さんと同じ志を持った先輩受験生たちの答案を何千枚も採点し、合格・不合格の判定を下してきました。その経験から言えることが一つあります。

「正しい答えを出していても、なぜそう考えたのかが見えない答案は、採点者の印象に残らない。」

医学英語総合・論文横断の問題では、各文書タイプの横断的理解の理解が答案の質を大きく左右します。

② 医学英語総合・論文横断で採点者が見ているポイント

「論文・ガイドライン・症例報告・患者文書それぞれの目的と読み方の違い」を示した答案が採点者に「医学英語を俯瞰している」と映る

 この授業の使い方

各問題のワンポイントには「採点者がどこを評価するか」の視点が含まれています。答えを出すだけでなく、根拠を一文添える習慣を意識しながら取り組んでください。

③ 総合型選抜・口頭試問でも同じ構造が問われる

採点者（大学教員）が口頭試問で確認したいのは「答えが出るか」ではなく「思考の構造を説明できるか」です。この授業で習得する「上から俯瞰する」視点は、あらゆる試験形式に通用します。

続きは講義でご覧いただけます

この教材には、採点者の視点・核心的な解法・入試問題・演習・まとめがさらに収録されています。

大学教授陣が設計した「普通の授業では出会えない接続点」を体験できる完全版は講義でご提供いたします。

清光学院 AP SEIKO 理系講座 © 清光教育総合研究所